



京大防災研の協力で、興津小の子どもたちが個別避難訓練後に作った「動画カルデア」(右)。興津地区には大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている



道の状況がこれくらいなら、まだ歩きやすい  
05.25

「個別避難訓練」高知・四万十町の試み

興津小子どもたちの活動は、地域の防災力・防災力を高める活動にもつながります。個別避難訓練から見た課題のまとめ

高齢者誘導 児童ら率先

興津小(児童数15名、6年生4、5年生9名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

映像交え 危険箇所指摘



お年寄り一人一人の避難訓練に付き添い、ビデオカメラなどで記録する子どもたち=11月28日、高知興津地区の興津地区

マップ作製、町に提言も 地域の防災けん引

興津小(児童数15名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

地域の防災けん引

興津小(児童数15名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

高知興津町の避難地は日本全国大津波後に大津波を想定し、子どもたち近所のお年寄り一人一人の避難所ルートに備える。個別避難訓練を通じて、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。



お年寄り一人一人の避難訓練に付き添い、ビデオカメラなどで記録する子どもたち=11月28日、高知興津地区の興津地区

考える

高知興津町の避難地は日本全国大津波後に大津波を想定し、子どもたち近所のお年寄り一人一人の避難所ルートに備える。個別避難訓練を通じて、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

探る

興津小(児童数15名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

東北大准教授 柴山 明寛さん



柴山 明寛さん

震災の経験・知見を収集

興津小(児童数15名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。

将来の地震対策への活用目指す

興津小(児童数15名)は、高知市興津地区の避難訓練に際して、近隣の避難民を誘導する活動を行った。避難民を誘導する活動は、避難民の安全確保に重要な役割を果たす。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。



津波に油断、迫る濁流気付かず(岩手・野田村)

避難は日々の心構え



防備や避難所を備え、岩手野田村の中心を襲った津波=2011年9月1日、野田村(岩手県)

岩手野田村に津波が押し寄せた瞬間。津波は、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。高知市興津地区は、大津波に備え、津波避難タワーや避難訓練塔などの施設も整備されている。



中野 浩和さん

伝える

2011.3.11

停電復旧拠点で協定結ぶ

角田市防災安全課長 山根利幸さん(55) 東日本大震災を教訓に、災害が起きる前、起きた後の両面から体制を見直しています。特に市民生活に影響が大きいライフラインの

断絶は対策が重要と考へ、停電の復旧拠点として市が用地を提供する協定を東北電力と結びつけた

角田市防災安全課長 山根利幸さん(55) 東日本大震災を教訓に、災害が起きる前、起きた後の両面から体制を見直しています。特に市民生活に影響が大きいライフラインの

これらの施設に来年年度までに、発電機などを備えた防災倉庫も整備します

角田市防災安全課長 山根利幸さん(55) 東日本大震災を教訓に、災害が起きる前、起きた後の両面から体制を見直しています。特に市民生活に影響が大きいライフラインの

現場から

東北福祉大ボランティア支援課コーディネーター 渡辺信也さん(32) 大学は、災害やボランティアの現場で自発的に活動できる人材の育成に、力を入れています。 東日本大震災では、宮城、岩手

防災の担い手育成へ講座

角島の津波被害を受けた自治体を一般を対象にした防災士養成研修講座を開催し、学生をはじめ約200人の防災士が誕生しました。前年から取り組んでいる社会貢献活動支援士の養成と合わせ、平時にも非常時にもリナーシップを発揮できる人材を地域に送り出したいと考えています。

一般を対象にした防災士養成研修講座を開催し、学生をはじめ約200人の防災士が誕生しました。

前年から取り組んでいる社会貢献活動支援士の養成と合わせ、平時にも非常時にもリナーシップを発揮できる人材を地域に送り出したいと考えています。